

# 社中央公園ステラパークの地下に耐震型貯水槽を埋設

## 約2万人の飲料水3日分を確保



50トンレッカー車で、4つに分割された貯水槽を吊り上げ、地下約5mに据え付けた後、溶接してタンクが完成。今後、掘り起こした土の埋め戻し作業などを行い、3月末に完成予定です。

地震や水害、火災などの災害は、いつ発生するか予測できません。市では、災害に強い「安全で安心なまちづくり」を目指し、被害を最小限とするよう備えています。

このたび、災害時の飲料水を確保するため、公共施設や社会福祉施設が集中する市役所社庁舎周辺を緊急時給水拠点と位置づけ、社中央公園ステラパークの地下に、非常用

貯水槽2基を埋設しました。貯水槽は直径3m、長さ15mの円筒形。容量は2基で約200<sup>3</sup>mで、約2万人の飲料水3日分に相当します。平常時には水道管の一部として機能し、災害で配水管が壊れた場合、緊急遮断弁が機能し、水槽内の水を確保する仕組みです。

同様の貯水槽は、平成22年度に、市役所滝野庁舎駐車場の地下にも埋設（約40<sup>3</sup>m）しており、それに続く整備となります。

また、高区配水池（山国）と社庁舎周辺を結ぶ水道管約4・9kmについても、耐震性パイプに変える工事を進めており、平成25年度に完了予定です。今回設置した貯水槽と接続させることで、さらなる水量確保が期待できます。

問い合わせ

上下水道部工務課

（東条庁舎）

☎ 47・1430

# 市役所新庁舎の建物基礎に免震装置を設置

新庁舎は、災害発生時に直ちに大規模災害拠点として機能できるように、免震構造を採用しています。

現在は建物基礎の工事を行っており、このたび、免震装置の取付が完了しました。

免震装置は、直径1・3m、厚み45cm、鉛とゴムの積層構造で、54台設置。地震の際には、ゴム部が最大60cmの範囲まで可動し、地震の揺れを吸収します。

積荷試験では、震度6強の揺れに対し、約20cmの可動に留まりましたので、それ以上の大地震にも対応可能です。

基礎部分の工事は、3月末に完了の予定です。4月から、建物工事に取り掛かり、今年の12月の完成を目指し、建設工事を進めていきます。

問い合わせ

企画部企画政策課（社庁舎）

☎ 43・0389



免震装置設置のようす。中央のくびれた部分がゴムできており、地震の揺れを吸収します。